

中学生社会体験チャレンジ

中学生が議会の職場体験に来ました！



昨年に引き続き今年も中学生が戸田市議会にやって来ました！今回は戸田東中学校から3名の生徒が、7月8、9、10日に職場体験を行いました。

職場体験では、市議会がどのように市政に関わっているのかなど、議会の基本はもちろんのこと、それをどのように市民に伝えるかといったことにもチャレンジしてもらいました。

内容は、本会議前の準備、議会広報委員会や議会見学ツアー「とだみらい会議」実行委員会への出席、議会SNSの更新、会議録の校正など、議会運営に係るさまざまな業務を体験していただきました。また、本紙の18、19ページの議員紹介コーナーでは、今回中学生が行った議員への取材を基に作成していますので、ぜひご覧ください。

このような実践的な学びが、社会の一員としての意識を深めるきっかけとなり、戸田市の未来のためにも住みよいまちづくりや政治に対する関心につながることを願っています。



みやた かる
宮田 翔さん

この社会体験を通して、今までなかなか知ることのなかった議員さんたちや議会事務局の方々の仕事について考えたこともなかったが、喜ばしいまちができてるのは、熱い思いのある議員さんたちがいるからできているということがよくわかりました。このようなことがあるからこそ選挙は大事だし、意見を言うなどのことも僕たちの環境をよくする第一歩だと、自分は思いました。市役所や議員さんたちは、自分の生活からとても程遠いものであり関わり合いがとても少なかったが、日々僕たちの暮らしやすいまちをつくってくれていることに気づきました。



みずの たくみ
水野 拓海さん

僕は今まで、議員や議場のことをよく知らず、議会事務局に関してはその名前すらも知りませんでした。しかし、この3日間を通して、議員や議会、議会事務局の仕事や役割などを知ることができました。議員さんはすごく気さくな方で、すぐに緊張が解けました。議場はすごくきれいで、迫力があって、これだけでこの仕事を体験できてよかったなと思いましたし、政治にも興味がわきました。



たかのぶ しゅんすけ
高延 駿佑さん

3日間の議会事務局での体験を通して、議場に入ってみたり、議員さんと一対一で話してみたりして政治について興味を持つことができました。「とだみらい会議実行委員会」に出席したときは職場体験にきた中学生3人の意見でポスターの案が決定するという重大なことをやってみました。しかし、議員さんたちに自分の意見を発言することができたので、これからの学校生活や社会に出てからも生かしていきたいと思います。



第34回全国市町村交流レガッタ豊岡大会に出場！



9月27、28日の2日間、第34回全国市町村交流レガッタ豊岡大会が兵庫県豊岡市内にて開催され、本市議会からは改選後の新たなメンバーで「サクラソウ」「モクセイ」の2チームが出場しました。惜しくも表彰台には手が届かない結果となりましたが、来年への糧となる健闘ぶりでした。また、大会を通して、市民クルーや他市町村議会との親睦を深めることができました。

委員会 視察レポート

本市議会では、委員会ごとに「年間活動テーマ」を決めて、調査研究を行っています。今定例会初日には、開会中に各委員会が実施した先進地への視察について、各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。

健康福祉常任委員会

<子育てサロンひだまり>

東京家政大学が設立した社会福祉法人緑伸会が運営する板橋区内の通所型産後ケア施設。助産師や看護師が常駐し、母子のケアや育児相談を行い、母親の休息の場を提供しています。

<東京都足立区>

孤立ゼロプロジェクトとして、町会と委託契約を結び、高齢者実態調査や見守り活動を実施。イベントでのPRや企業との協力など区全体で孤立防止の機運を高めています。



訪問活動による見守り（足立区HPより）

市民生活常任委員会

<千葉県千葉市>

下水道管の点検にドローンを活用することで、安全性の向上、作業の省力化や効率化、調査範囲の拡大などの効果が見込まれます。一方で、遠隔操作で通信が途切れるケースがある、カメラレンズに汚れが付くと視界不良になるなど、課題も多く見つっています。現時点で実践的な導入は困難ですが、点検・調査は人の安全が第一であり、機械化は今後より重要になると考えられます。



下水道点検におけるドローンの活用を視察

議会改革特別委員会

<新潟県柏崎市>

通年会期制により、臨時で急ぎの議案や県への意見書を議決するなど、機動的な議会対応を可能としました。また、事前に論点を整理し、効率的な予算・決算の審査が行われていました。

<石川県白山市>

通年会期制の下、市内・県内の災害対応のための臨時会議の開催実績がありました。また、予算決算常任委員会にはほぼ全議員が参加するため、議員間の情報共有が進みました。



柏崎市で通年会期制のメリットなどを調査

議会広報委員会

<福岡県福津市>

議会だよりのターゲット層を三、四十歳代の子育て世代と中学生に設定し、中学生のインタビュー記事を掲載するなど、市民参加型の特集を組み、市民との関係づくりをしています。

<福岡県春日市>

議会だよりの表紙写真をコンテスト形式で募集するとともに、採用されなかった写真も議会SNSで紹介するなど、紙媒体とSNSを連動させる工夫をしています。



雑誌風のデザインに刷新（福津市議会）